

平成24年度予算を可決

― 予算審査特別委員会を設置し審査 ―

平成24年度の一般会計、特別会計及び企業会計の予算については、予算審査特別委員会(議長を除く議員25人で構成)を設置し、本定例会中の3月14日から19日までの計4日間にわたり審査を行いました。

各予算案は、いずれも原案可決となっております(詳しくは13ページをご覧ください)。

予算審査における委員会の主な意見等は次のとおりです。

予算審査特別委員会



大滝 豊 副委員長



倉又 稔 委員長

一般会計予算(ごみ処理施設について)

ごみ処理施設の運転管理委託については、最終処分場に水銀化合物を廃棄した問題を含め、行政と議会が受託者である株式会社日立製作所と長い時間をかけて協議を行い、合意に達したものである。その結果、平成24年度以降の年間委託費は2億5千8百万円と決定されたが、予算上、管理運営費と施設修繕費等の経費が不明確になっている。これまでの経緯から、経費については市民や議会に対して十分に説明を行うべきであり、今後も常に明確な対応を強く求める。

一般会計(スカイパーク事業について)

火打山麓振興株式会社の社長が市長であることは利益相反行為になりかねない。資産の所有権の帰属と経営を分離し、市長が社長を兼務しなくても経営が

可能な体制の検討等、抜本的改革を考えること。また、指定管理料には大規模修繕費も含まれているが、これらは内容が異なるものであり、明確に経費を区分するべきである。

介護保険事業特別会計予算

平成24年度は第5期の介護保険事業が始まる年であり、その内容は議会、市民の大きな関心事である。とりわけ第5期介護保険料は大幅増となっており、保険料の根拠等は、早めに説明するべきである。



予算審査特別委員会

議員定数検討委員会答申

議員定数検討委員会(松尾徹郎委員長)が、3月26日、現在26人の議員定数を「20人又は22人」とする検討結果を議会運営委員会に答申しました。

議員定数検討委員会は、議会改革の重要課題の1つである議員定数について検討を行うため昨年12月に設置したもので、地域審議会の皆さんの意見も聞きしながら検討を進めてきました。今後、この答申を基に、議会運営委員会等で協議を行います。



3月26日に行われた答申(左から甲村議会運営委員長、松尾議員定数検討委員長、古川同副委員長)